

会議名	H25年度 支援相談員部会 現任研修	☒ 全体会 ☐ ブロック会 ☐ 執行部会
開催日	平成25年 10月 22日(火) 10:00 ~ 16:30	
場所	ウィリング横浜	
参加者	青葉の丘、ウェルケア新吉田、荏田あすなろ、グリーンリープス赤枝、ソフィア都筑、たかつ、都筑シニアセンター、 ハートケア左近山、みどりの杜、横浜市総合保健医療センター、よみうりランドケアセンター、リハビリートわかたけ、 阿久和鳳荘、鎌倉幸寿苑、コスモス、こもれび、ぬかだ、能見台パトリア、ふるさと、リハビリポート横浜、 ユトリアム、 ガーデニア・ごしよみ、ききょう苑、ケアガーデンさがみ湖、ケアパーク湘南台、ケアパーク茅ヶ崎、相模大野、 南大和老人保健施設、さつきの里あつぎ、にじの丘足柄、メイプル、 31施設 32名 記録者：桐沢	
	司会：ききょう苑 磯部氏 1.開会挨拶：ウェルケア新吉田 内田氏 講義：「できるソーシャルワーカーになろう ～ポジショニングについて～」 講師：特別養護老人ホーム はなの家とむろ 生活支援課長 北島 揚子氏 ◎ポジショニングとは もともと、集団スポーツ(ラグビーやサッカー)などで使用されていた「相手の攻守の型を見抜いて自分の位置をとること」という意味。それを対人援助に応用し、「自分・患者・部署の置かれている立ち位置」を把握・分析し、戦略的に仕事をする。 ◎講義の進め方 1 グループ5～6名、計6グループに分かれ、進行役・書記役を選ぶ。 資料の設問についてグループごとにディスカッションし、2グループが発表する形式をとった。 問いは全部で6領域に分かれており、進むにつれ マクロ【大集団】⇒ 県・市区町村・地域 ↓ メゾ【中集団】⇒ 組織(法人・会社・所属部署) ↓ ミクロ【小集団】⇒ 自分・上司・同僚・家族など と領域(視点)を徐々に絞る設定になっている。 ※設問について考える時、 ・どのツールを用いて調べたらわかるか ・この設問に答えて何がわかったか ・調べた結果、今後どのように活かせるか } <u>「気づく」事が大切！</u>	

内容	◎ポジショニングの活用方法 ・自分の立場が変わった時(部下ができた・部署がかわった) ⇒ 役割りを理解・再確認する ・仕事の振り返りをする時 ・教育シートに使う ⇒ 「気づき」を促すシートになる 【領域1】あなたの老健の所属する地域について ※マクロな視点 ⇒ 県・市区町村・地域の特性を把握し、施設方針や今後の経営戦略・ニーズを把握する。 Q1 現在の日本の高齢化率、あなたの所属機関の所在する都道府県の高齢化率、市区町村の高齢化率はどれくらいでしょうか。また今後の見通しはどうでしょうか。 Q2 あなたの所属機関のある地域の公的サービス・インフォーマルサービスの水準は他の地域と比べてどうでしょうか。今後の福祉計画はどうなっていますか。また所在地域の介護保険サービス、公的サービスのリストは持っていますか。どこの事業所が良いかわかりますか。 Q3 役所の福祉担当者名はわかりますか。役所のキーパーソンは誰でしょう。地域の住民パワー、ボランティアの力、近所のつながりが強い地域でしょうか。地域の医療・福祉界を引っ張っている人はだれですか。(地域のキーパーソンは誰ですか)。 Q4 あなたの所属機関に相談にくるのにどこからの紹介が多いでしょうか。どのような利用者があなたの所属機関を利用していますか。来談者、利用者はどの居住地域の方が多いですか。来談者・利用者はどのような交通手段で相談に来ていますか。 Q5 サービスの利用に関して、どの機関のどの職種の人が(誰が)、あなたの所属機関に利用者を紹介していますか。またどのような利用者が多いですか。利用者の居住地域はどのあたりですか。逆にあなたの所属機関からの転所先はどのようなところが多いですか。どのような機関に紹介していますか。また、あなたの所属機関と競合する機関はどこでしょうか。 【領域2】あなたの所属する老健または法人の理念について ※メゾな視点 ⇒ 歴史や沿革・理念から、施設・法人の目指している方向性を理解し、社会人・組織人として自分が何を求められているか把握する。 また、組織図を把握することで組織内の力関係・連携先・相談相手がみえてくる。 Q1 あなたの老健または法人の理念を教えてください。 Q2 あなたの所属機関の設立から現在までの歴史・沿革を把握していますか。 Q3 あなたの所属機関の組織図を把握していますか。 Q4 あなたの所属機関の年度目標を把握していますか。
-----------	---

内容

【領域3】ソーシャルワーカー部門について

※メゾな視点⇒ ソーシャルワーカー部門が施設や法人からどのような位置づけをされているか、また期待・求められているか客観的に確認する。さらに、法人内における部門の認知度、力量を把握する。

- Q1 あなたの所属しているソーシャルワーカー部門の名称や人数、業務内容など沿革について説明して下さい。
- Q2 ソーシャルワーカー部門の所属はどうなっていますか。部門に役職者はいますか。いるとすればどのような職位ですか。
- Q3 ソーシャルワーカー部門に所属している構成員の経験年数を教えて下さい。また、困難ケースや業務上の相談は誰にしていますか。
- Q4 ソーシャルワーカー部門として主に行っている業務を5つあげてください。その5つのなかで「もっともソーシャルワークらしい業務」と思っているものに○をつけてください。
- Q5 ソーシャルワーカー部門で行っている業務内容ごとに手順や業務の目的や範囲はありますか。

【領域4】ソーシャルワーク援助の対象者の理解

※ミクロな視点 ⇒ 利用者に関する領域。利用者のニーズを把握する。

- Q1 ソーシャルワーカーが援助対象とする方の居住地域、疾患・病状、年代、緊急性やリスクについてどの程度把握していますか。
- Q2 どのような生活を送ってきた人なのか、その方の個性や生活を理解しようとしていますか。
- Q3 ソーシャルワーカーに対する援助ニーズは何かを整理していますか。
- Q4 来談者・利用者はソーシャルワーカーにどのように紹介されてきているかを把握していますか。

【領域5】あなた自身について

※ミクロな視点 ⇒ 仕事を行う上での原動力や原点を振り返り、システムとしての自分を再確認・理解する。

- Q1 今のソーシャルワーカーとしての思いは何ですか。
- Q2 ソーシャルワーカーを目指した理由、なった理由はなんですか。
- Q3 あなたが持っている知識・技術・ネットワーク(連携)を書きだしてみましょう。
- Q4 誰に相談していますか。

内容	Q5 これまでの援助事例の中で、悩んだり苦戦したりしたケースはありますか。3つのケースを思い浮かべて下さい。悩んだり苦戦したりしたのは、どのような理由からか次に3つの点から考えてみてください。 ①利用者自身の問題、もしくは利用者が抱えている問題のせいかな。 ②所属する老健や、または地域の機能や特徴が関係している問題か。 ③ソーシャルワーカー側の問題か(援助の基本的視点や態度、知識・技術の問題など。) Q6 ソーシャルワーカー部門があなたに求めていることは何でしょうか。 【領域6】エコマップとジェノグラム <u>※まとめ⇒ 今までの設問を視覚化することで自分と周囲の関係が把握しやすくなる。</u> <u>仕事をする上で自分の味方・バックアップしてくれるもの(人・知識など)を自覚・把握する。</u> <u>また、実際の組織の力動を見極め、戦略的に確認する。</u> Q1 あなた自身の「社会資源」をエコマップを応用して書いてみましょう。 Q2 あなたの組織の力動(組織の表のラインと裏の力動)をジェノグラムを応用して書いてみましょう。 2.閉会挨拶:たかつ 園田氏 3.事務連絡 以上
-----------	---

平成 25 年度 支援相談員部会 現任研修（10 月 22 日開催）アンケート結果

研修テーマ 「できるソーシャルワーカーになろう～ポジショニング～について」

アンケート回収 28 名

①今回の研修内容について

(1) 研修のテーマは興味を感じるものでしたか？

a. 興味がある 28 名 b. どちらともいえない 0 名 c. 興味を感じない 0 名

(2) 内容に対して研修時間は適切でしたか？

a. 長い 3 名 b. 適切 20 名 c. 短い 5 名

(3) 研修内容のレベルは適切でしたか？

a. 高い 5 名 b. 適切 23 名 c. 低い 0 名

(4) 研修内容は今後の業務に生かされると思いますか？

a. 思う 26 名 b. どちらともいえない 2 名 c. 思わない 0 名

(5) 今回の研修で、良かった点と悪かった点をあげてください

- ・良かった点 自分の仕事を振り返る事ができた。
ふだん、なかなか出来ない研修内容なので良かった
視点の変化で自身のポジショニングを再確認できた。
何気なく業務についていた事に気付かされた。
他施設の状況を聞いて話し合えて勉強になった。
相談員の原点や色々な視点で考える事ができた。
領域の内容ではなく内容についての気付きを知る事ができた。
グループワーク、ディスカッションが多く課題である各領域で気付けた
自分の領域の特性を知り地域のニーズを知り見落としとして仕事をしてきた
自分に気付いた。
組織内での立ち位置で振り返ることが出来て良かった。
当たり前の部分にフォーカスを当てて理論的に考えられた事が良かった。
自分自身の立場を再確認しながら勉強できた。
ワーカー業務を見直す事ができた。
施設と自分との距離感、ポジショニングを考えるきっかけになった。
不満ばかりを言っていたように思う。
自分の甘さを自覚出来た事。
振り返り、気付きが出来た。
説明がわかりやすかった。
今後、自分が施設で何をやっていくか、何を求められているのか

考えるきっかけになった。

- ・悪かった点 グループワークの時間が短い。
項目が多くて時間が足りない所があった。
内容が多く深い話し、他の人の話が聞けない事は残念です。
経験が浅く予習してくれればと後悔しています。
わかってもかえられない自分
ディスカッションの時間が短かった。
場所が少し遠い。

(6) 講師の先生に一言お願いします

施設に戻り他の相談員に今回の研修を話し自分たちの仕事をもう一度振り返ってみます。

チョコ、ありがとうございました。

まさに、できるソーシャルワーカーだと思いました、もっと話しが聞きたいです。

日々忙しい業務に追われているので、少し初心の気持ちを思い出し、振り返る事が出来ました。

具体的に話して頂きわかり易かった

自分自身の組織としてソーシャルワーカーとしてのポジショニングを明日から活かしたい。

例を挙げての説明が多く、内容は難しかったですがわかり易かったです。

先生にスーパービジョンになって欲しいと思いました。

経験に基づいたお話しが聞けて良かったです。

やわらかいトークで聞き易かった。

自分を少し見つめ直す機会となりました。年をとればとるほど嫌な作業ですね。

同じ一相談員の方がここまで自己研鑽し取り組まれている事に凄いと感じます。

このシートを有効に自分の実力に変えていきたいと思います。

眠くなる暇ありませんでした。

自分の立ち位置を知って仕事をする事の大切さがよくわかりました。

②研修の総合的な評価について

(1) 研修に参加して良かったと思いますか？

- a. 思う **28**名 b. どちらともいえない **0**名 c. 思わない **0**名

(2) 今後もこのような研修に参加してみたいと思いますか？

- a. 思う **27**名 b. どちらともいえない **1**名 c. 思わない **0**名

③今後の研修に関して

(1) 今後、どのような研修に参加してみたいですか？

- ・参加してみたい内容 コミュニケーション技術、困難事例検討会、今回の続き。
在宅へ向けての支援
施設での看取りについて
相談援助技術、ストレスマネジメント。
面接技術、業務改善。
リスクマネジメント
新人教育の方法。
クレーム対応。
介護保険改正、地域包括について。

・招いて欲しい講師

鹿田雄也氏

(2) 施設の判定会議の開催曜日を教えてください。

毎週月曜日（状況によっては随時開催）3
毎週火曜日 5
毎週水曜日 9
毎週木曜日 5
毎週火曜、木曜 2
毎週月曜、木曜 2
毎週金曜日午前
随時持ち回り

(3) 執行部に対する希望、要望をあげてください。

以前に部会でも行ったディベートみたいな事例検討会を開くと参加者もたくさん話す事が出来るのではないのでしょうか。
施設の自分の職位等の分け方で研修。